

今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】

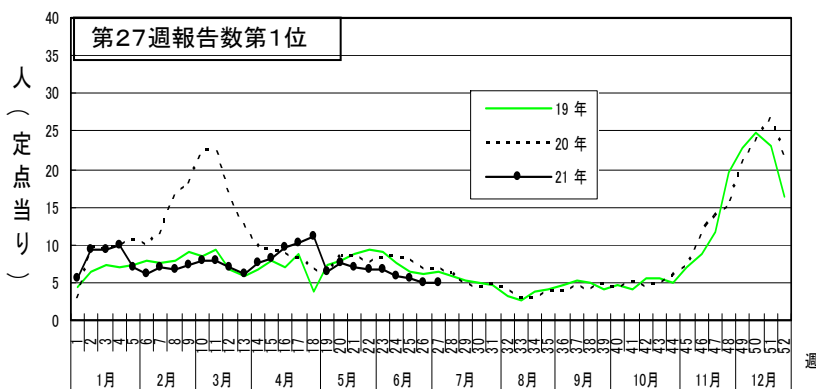


KAWASAKI CITY

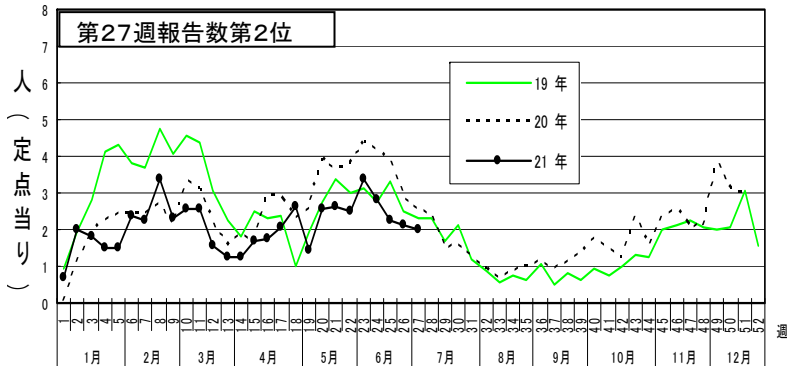
平成21年6月29日（月）～7月5日（日）〔平成21年第27週〕の感染症発生状況

第27週で報告数の多かった疾病は、1) 感染性胃腸炎 2) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 3) 手足口病の順となっています。手足口病の報告数が前週の約2倍（報告数64件、定点あたり1.94）となっているため、今後の発生動向には注意が必要です。

感染性胃腸炎発生状況(3年間)



A群溶血性レンサ球菌咽頭炎発生状況(3年間)



夏でもけっこう流行るんです。感染性胃腸炎

「感染性胃腸炎」というと、冬場のノロウイルスを思い浮かべますが、年間を通して発生します。

夏場は細菌（腸炎ピブリオやサルモナなど）、冬場はウイルス（ロタウイルスやノロウイルスなど）が原因となることが多い疾病です。原因となる細菌やウイルスにより症状は異なりますが、発熱、下痢、腹痛、悪心、嘔吐などが見られます。

川崎市においても、例年の報告数と比較すると少なくなっていますが、第27週の報告数は161名（定点当たり4.88人）となっています。

感染経路は、食品や水を介しての経口感染やヒトやペットからの接触感染もあります。

予防は、手洗いが基本ですが、食品の衛生的な取扱いにも注意しましょう。また、乳幼児や高齢者は脱水症状になりやすいので、水分補給は十分に行いましょう。



これからの季節は、暑さで体力を消耗しやすいので、健康管理に気をつけましょう！！



夏期食品一斉取締り中

川崎市では、平成21年7月1日から9月30日までの間、夏期に多発する食中毒等食品による事故の防止を図るため、夏期一斉の取締りを実施中です。



発行 川崎市健康福祉局健康安全室・衛生研究所・各区保健福祉センター（保健所）